

三鷹市障がい者自立支援協議会（令和4年度第3回）議事要旨

日時：令和4年8月29日（月）18時30分～20時30分

場所：オンライン審議

出席委員：大木幸子、岡田敏弘、新津健朗、福原理絵、檜垣知子、菅原健、中野弘子、土屋秀雄、大野通子、瀧澤勤、加藤亮一、海老原恵理子、鶴田明子、工藤勇太、渡邊幸治、高橋久実子

事務局：立仙障がい者支援課長、荻野障がい者相談支援担当課長、他 12名

傍聴者：なし

（順不同、敬称略）

<配布資料>

- ・ グループメンバー表 (資料1)
- ・ 委員名簿 (資料2)
- ・ 調査票についての意見（障がい者調査・障がい児調査・医ケア調査） (資料3)
- ・ 障がい者調査 調査票 (資料4)
- ・ 障がい児調査 調査票 (資料5)
- ・ 医療的ケア児・者調査 調査票 (資料6)
- ・ 入院者調査 調査票 (資料7)
- ・ 施設入所者調査 調査票 (資料8)
- ・ 高齢障がい者調査 調査票 (資料9)
- ・ 人権基本条例（仮称）について (資料10)
- ・ 今後のイベント予定 (資料11)
- ・ 令和4年度障がい者のためのしおり
- ・ 第2回タイムスケジュール（予定）
- ・ 意見シート

1 人権基本条例（仮称）の制定について

○ 副会長

会長が急な用事により不在のため、会長が出席するまで司会進行する。

順序が違うが、先に、次第2(1)人権基本条例（仮称）の制定について、事務局より説明願いたい。

○ 事務局

資料10に基づき説明。

○ 副会長

質問等はあるか。

○ A委員

三鷹市において、人権について何かしらの問題があったという現状認識により条例化にいたったのか。条例を作るのでヒアリング調査するというのは、順序が逆だと感じる。

○ 事務局

具体的な問題があったというわけではなく、社会の変化に伴い多様な課題が認識されてきたので、安定的・長期的に人権を守り、みんなに優しいまちとしていくことを目的に、条例を作りたいと考えた。条例を作ればすぐに人権の問題が是正されるわけではないと思うが、少しずつでも社会の意識を変えていきたい。

今回みなさまに配布したヒアリング調査票にて、困りごとや条例に求めることを伺うことによって、より良い条例が作れると思うので、ぜひ考えを聞かせてほしい。

○ (副会長と司会を交代する) 会長

人権基本条例で市の基本姿勢が明示されることが重要で、その点がこのような条例に期待することだ。つまり、三鷹市がどのように市民の基本的な人権を認識していて、それに基づいた施策を展開するかという、市の施策全般にかかわってくることなので、市民の理解を得ることにとどまらず、市の姿勢が示されることに、この条例の意義があると思うが、いかがか。

○ 事務局

ご指摘のとおり。まだ決まってはいるが、理念に基づきながら、市や市民、市内事業者が責務を全うしていくというような内容になると考えている。市の理念を明確にすることで、市職員一人一人もそれを前提にしながら仕事を行っていくことになる。

○ 会長

安心した。1点追加で、資料10に「男女及び多様な性」とあるが、この表現だと男女がメジャーな性でそれ以外はセクシャルマイノリティになってしまう。男性・女性も多様な性の中のひとつだという認識だ。また、女性の性被害の問題は、性の多様性とは別にあると思うので、その点も配慮してほしい。

○ B委員

条例の名前に「三鷹市」という言葉を入れて、より三鷹市らしいものを作ってほしい。

障がい者の人権に問題があると受け止める方もいると思うので、人権について現在問題がないという認識であれば、補足としてそのことを記載した方がよい。

○ 事務局

外国籍の方や多様な性の当事者の方に話を聞くと、実際に日常生活での問題はあり、それは他の方も同様だと思う。背景にある課題を、条例の中に直接的に記載することはないと思うが、当事者の方々の意見を聞きながら、ハンドブックや条例の解説などには、具体的な課題も入れていきたい。

○ C委員

三鷹市らしく誰も取り残さない条例ができるといいと思う。

それから、色々な方にヒアリングしているという話だったが、入院中の精神障がい者が対象となっていない。今この瞬間も社会的入院を余儀なくされている人たちが、最大の人権侵害を受けていると思っているので、そうした方々の声もしっかり反映されるよう工夫してほしい。

○ 事務局

直接本人から聞くことは難しいかもしれないが、こういうケースの方はこのようなことに

困っているというような意見や課題を、なるべく多くの方に聞き取りながら進めていきたい。

○ D 委員

社会的に少し難しさを抱えている人たちの仕事の創出や機会均等についても、人権という観点から配慮を加えてもらえるとよいと思った。

○ 事務局

就労の問題も非常に大切な課題と捉えているので、検討していきたい。

○ E 委員

福祉分野が抱えている問題と、三鷹市企画部（詳しく事務局）で把握している問題に温度差があると感じる。実際にこの条例ができると、一つの問題を解決するにも、事業者含め福祉分野全般においてかなりハードルが上がるのではないか。その点も含め、もっと具体的に慎重に作成を進めてほしい。

○ 事務局

人権基本条例（仮称）は、全体を司る理念や基本的な考え方をまとめる条例としたい。高齢者や障がい者に関することなど個別の内容については、カテゴリーごとに関連条例を整備していきたいと考えており、慎重に検討を進めているところである。

2 障がい者等の生活と福祉実態調査について

○ 会長

障がい者等の生活と福祉実態調査について、第2回協議会に引き続き、今回もグループに分かれて調査票を検討したい。前回検討した調査票の修正案が今回出されているので、A・Bグループは、それについて議論いただく。C・D・Eグループは、今回初めて検討する調査票について議論いただきたい。

第1回協議会で、全体の設計として、網羅的な調査がいいのか、焦点を絞った調査がいいのかという議論が出て、それについて再検討していないので、その点も含めて各グループで議論してほしい。資料7～9の調査票を見ていただくと分かるが、かなり焦点化された調査票となっている。

まずは、調査票について事務局から説明願いたい。

○ 事務局

資料3～9に基づき説明。

○ 会長

では、グループワークを開始する。

<5つのグループに分かれてグループワーク>

グループ	検討した調査票
A	障がい者調査
B	障がい児、医ケア児・者調査
C	入院者調査
D	施設入所者調査
E	高齢障がい者調査

○ 会長

それでは、各グループの検討内容を共有したいので、Aグループから発表願いたい。

○ F委員【Aグループ：障がい者調査（資料4）】

順に発表する。まず、2ページ目が目次、アンケート結果の活用という順に記載されているが、アンケート結果の活用、目次の順番の方がよい。また、目次の「お聞きします」は削除するなど簡略化した方が見やすい。問2の性別を聞く設問は、「答えたくない」という選択肢に抵抗がある方もいるので、「その他」にするか、丸をつけなくてもよいとしてはどうか。問8は、発達障がいだということは分かっているが、診断名は分からない方も結構いらっしゃると思うので、「わからない」という選択肢が必要だ。問11の表は、白抜きの文字が見つらい。また、サービスの説明が専門的で分かりづらいので、できればもう少し簡単な言葉で説明があるといい。問16で収入について聞いているが、デリケートな質問なので、なぜそれを聞くのか説明があると答えやすくなる。問37の設問は、「主に介助・援助してくれる人」に、例えば括弧書きで両親、兄弟、後見人など、もう少し具体的な書き込みがあると回答しやすい。

全体として、大分意見が反映されて修正されていると感じたので、あとは、どのような調査結果が出たかや答えやすかったかなどの検証が大事だ。結果についてまた考えていきたい。

また、補足として、基幹相談支援センターの周知ができていない根拠が分からない、障がい児調査になるが、相談先の「誰もいない」への自由記述欄が想定できないから不要と説明があったが、「想定できない」と言われると否定されている気持ちになる、想定できないからこそ聞いてほしいという意見も出た。

○ D委員【Bグループ：障がい児調査、医療的ケア児・者調査（資料5、6）】

まず、全体として細かく調査項目があるので詳しく聞き取りができること、アンケート結果がどのように福祉施策につながるのかが明記されていることは、とてもよいという意見だった。

具体的な内容については、スクールバスについては事務局の説明であったとおり、通学・通園する際の困りごとの選択肢に含めるという方向性でよい。問15にいろいろな福祉サービスが挙げられているが、三鷹市独自の制度も入れてもらえると、サービスについて知る機会にもつながる。障がい児調査、医療的ケア児・者調査共通で、設問の聞き方は「保護者の方は」に統一しても分かりやすいのではないかと、最後の自由記述欄が小さいので、もう少しスペースを作ってほしいという意見があった。

○ 会長

この2グループが、第2回での議論を反映したものになるので、ここで一度全体から意見はあるか。

性別の聞き方は、LGBT当事者の方から「答えたくない」という話は聞くので、選択肢に「答えたくない」はあっていいと思う。「その他」が嫌な方やどれかに決めたくない方もいるので、事務局の説明のとおり、「男性、女性、その他、答えたくない」という選択肢でいい。

福祉サービスの説明は、細かい字でルビもない難しい説明だが、簡単に説明するのは難しいと思うが、工夫があるといい。

○ G委員

全体として、目次の後に「答えたくない質問や選択しづらい項目がありましたらその質問

を飛ばして次の質問にお進みください」とあるが、これは回答にあたってのお願いのところなど、もっと分かりやすいところに大きく記載するのがいいと思う。

○ C 委員

障がい児調査で、保護者向けだからルビ不要とはならないと思う。全ての人に分かりやすい調査票としてほしい。

○ B 委員

アンケートの提出方法は、郵便のみではなく、例えば市役所に提出用の簡易ポストがあって、相談に来たついでに出せるなどできるとよいと思った。

○ 会長

工夫できそうなことは検討してほしい。

では、続いて残りの3つのグループから発表願いたい。

○ C 委員【C グループ：入院者調査（資料7）】

1 ページ目に「ご本人がご回答ください」とあるが、入院している方だと、どうしても病院の職員がサポートすることになると思う。本人の意図がきちんと回答できるようなサポートの依頼を、別の文章で作るなど配慮してほしい。4 ページ目から入院の状況を聞いているが、入院に対して今どう思っているのかを聞く設問があってもよい。問 10～12 の設問が、「最近（3～4か月）」と「最近（3か月）」が混在しており、何か意図があるのか事務局に聞きたい。問 15 など設問から設問に飛ぶ部分の矢印や説明が見つらい。問 15-3 の選択肢が「自宅もしくはアパート」となっているが、戸建てでもアパートでも自宅には変わらないので、わざわざ「アパート」と記載する意図が分からない。問 16 は、「○は1つ」となっているが、複数回答でよいと思う。入院している方が、サービスのことを知るよい機会となると思うので、この設問自体はいい。また、サービスの1つめの居宅介護の説明に「家事援助」を記載して、ひとり暮らしするために家事そのものを一緒にトレーニングするサービスがあるということを知ってもらってもよいと思った。

全体として、入院している方に特化した調査となっており、バランスよくまとまっている印象だ。

○ 会長

「最近」の説明が統一されていないのはなぜかと、「自宅もしくはアパート」という表記の意図は何かという質問に、事務局から回答願いたい。

○ 事務局

「最近」については、直近のことを聞く設問で整理したい。「自宅もしくはアパート」の表記については検討する。

○ 会長

特に意図がないのであれば検討してほしい。

続いて、D グループから発表願いたい。

○ E 委員【D グループ：施設入所者調査（資料8）】

施設に入所している方の中にも高齢の方がいるので、今後、受け入れ先へのアンケートが必要だと思う。高齢者施設ではどのような体制で障がい者を受け入れているのかを把握していないと、入所施設の次の希望を聞けないのではないかな。

また、ほぼ職員または家族が答えると思うので、家族向けのアンケートを実施してもいいのではという意見もあった。

問 17 の選択肢に「家族の近くの入所施設」という選択肢を加えてはどうか。また、遠方の施設に入所した場合、三鷹市での支援がどこまで継続できているかが課題の一つとして挙がっており、アンケートの中で、現在の施設の場所が都内なのか関東近郊なのかなど聞いてもよいと思った。問 18 の選択肢に「グループホームなどを増やす」とあるが、ここに入所施設も含まれるのか。三鷹市でも入所施設を作った方がよいのではという結論になった。

○ B 委員【E グループ：高齢障がい者調査（資料 9）】

1 ページ目に「音声読み上げ用のテキストアンケートを希望される方は～」とあるが、視覚障がい者の方は、読み上げてくれる介助者がいないとこの情報にたどり着かないので、この点をどうすればよいか検討してほしい。

問 11-1 で介護保険サービスを使っていない理由は聞いているが、サービスを利用している方に対して、どのような理由で使っているのかを聞いてもいい。使わざるを得なくて利用している方もいると思う。問 12 で 65 歳になるまでに障害福祉サービスを利用していたか聞いているが、65 歳になっても利用しているかについても聞いた方がよい。問 12-1 の「わからない」という選択肢は、何がわからないのか表現が難しいという話になった。また、介護保険サービスになって、利用回数や時間が増えた方もいるので、「増えた」という選択肢があってもよい。

○ 会長

問 12-1 の選択肢は全体を見直してほしい。

視覚障がいのある方が回答するための合理的配慮について、事務局から案はあるか。

○ 事務局

視覚障がい当事者の方にも相談して方法を考えた。封筒に音声コードを付ける予定で、そこからテキストアンケートにたどり着けるようにと考えている。

○ 会長

よく検討してほしい。

各グループの発表を聞いて、意見はあるか。

○ G 委員

資料 8 施設入所者対象 2 ページ目の基幹相談支援センターが面会や電話にてアプローチしたとなっているが、これも別紙が必ず付いているということでよいのか。

○ B 委員

資料 9 の高齢障がい者の質問 12-1 の 65 歳以降サービス利用に関しての部分について、ほかの問いが細かなサービス名で書いてあるのに対し、ここだけサービス利用という言葉になっているが、何か意図があるのか。

○ 会長

2 つ質問合わせて事務局から回答をお願いしたい。

○ 事務局

施設入所者調査に関しては、基本的にこの地域移行に関するお問い合わせ先を明記することで今回追記してある。お問い合わせ先として基幹相談支援センターとして認識いただき、

保護者様もしくは入所者であれば入所先の職員様からご連絡いただけるようなものを明示するという形で、今回やらせていただければと考えている。

- 会長
別紙を入れるわけではないのか。
- 事務局
別紙を入れるわけではないが、お問い合わせ先ということを示すことで問い合わせのチャンネルっていうのをしっかり理解していただけるようにということで、まずやらせていただきたい。
- 会長
基幹相談支援センターの取り組みがわかるようなチラシ等があってもいいのではないか。
- 事務局
2ページ目のところで基幹相談支援センターが面会、電話にてアプローチしましたという成果を記入しているところに取り組みを追記し、ご希望がある方がアプローチしやすいように工夫させていただければと思う。
- 会長
調査票は返送してしまうから本人の手元に残らない。本人の手元に残るチラシがあった方がいいと思う。検討してほしい。
- 事務局
こちらでお送りさせていただく。
- 会長
もう1つの質問の回答をお願いしたい。
- 事務局
高齢障がい者調査の問 12-1 の表記について特に意図はないと思うので、前後と合わせて整理する。
- 会長
ありがとうございます。H 委員何かコメントはあるか。
- H 委員
文字数が多い。答えるのが大変という印象を受けた。ルビが入ってしまうのは仕方ないことだが、シンプルに見やすくしてあげた方が答えやすくわかりやすくなると思う。
- 会長
他にもご意見あれば意見シートに記入し、事務局に提出していただきたい。
意見シートの提出はいつまでか。
- 事務局
前回協議した3つについては明日の午前中までに、今回初めてお見せした分については、9月2日を締め切りしている。新たに今回お見せした調査票については、もう1回修正案を送り、再度ご意見を頂くというタイミングを想定している。最初の3つについては、明日までに頂いたご意見を事務局で検討し確定したい。
- 会長
修正した調査票はそれぞれ委員に届くか。

- 事務局
確定したものについては送らせていただく。

3. その他

(2) 今後のイベント予定について

- 会長
イベントのインフォメーションを事務局からお願いします。
- 事務局
次回の協議会がもう2月と先になっているので、現時点でわかっているイベントを資料 11 に列記している。
- 会長
是非奮って参加してほしい。一つ確認で、調査票の色紙は今日のための色紙なのか。現物もこの色でいくのか。
- 事務局
今日のための色だと認識している。
- 会長
色付けるにしてももうちょっと薄めをお願いします。
- 事務局
承知した。

(3) その他

- 会長
他にインフォメーションあるか。
- A 委員
実態調査での検証結果を今後の取組等に反映していくうえで、当事者の声を情報も含めて反映しているものだと自信を持って言えるものにしてほしい。
- 会長
諦めずに一つひとつ、積み重ねていくことは力になると思うので、一緒に検討していきたい。今回の調査も毎回検討時間も十分ではないが、よかった部分をしっかり検証していけるようにしたいと思う。
- B 委員
障がい者のためのしおりに当事者部会の意見が反映されて、後ろに障害種別のサービスのところに分野が追加されるようになった。是非見ていただいて違いの部分を確認していただけるとありがたい。
- 会長
該当サービスの早見表の部分が障害種別ごとに表になっているが、ページが付いてないのが残念。当事者部会のご意見を市でも反映していただいた。議論いただいた当事者部会の方もありがとうございました。
- 事務局

最後次回第4回自立支援協議会は、令和5年2月8日の水曜日午後6時半から教育センター3階大研修室で開催します。